

向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。

愛隣館研修センター ニュース

社会福祉法人イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島の町151
TEL 075-621-3849
FAX 075-621-1579
発行 平田 義
編集 集 恵 大一郎

「にっこりフェスティバル」開催

皆様のご協力に感謝いたします

あそぼう会、ベテスタの家、ベテスタの店、ぐんぐんハウス、ふうせん文庫、手話サークル、ほっとハウス、野の百合保育園保護者会、使い捨て時代を考える会、ペンギンの会、世光教会、JCIL、

◆ 当日、参加された主な団体 ◆

(順不同)



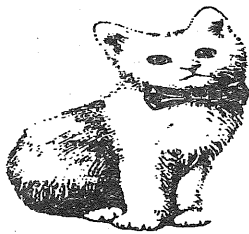
※ 次ページへ続く ※

向島で生活する様々な立場の人々が出会い、お互いを知り、交流を深め、「障害」をもつ者も、そうでない者も、また、お年寄りや小さな子ども達も、生き生きと暮らせる街づくりを目指そう、そしてこの愛隣館研修センターのことを少しでも地域の人々に理解していただくの思いで、「向島・にっこりフェスティバル」が、去る十一月二十七日(日)、当センターにて開催されました。(主催 実行委員会)

当日は、心配された雨の方も影響はなく、延べにして約五〇〇人もの人々が集ってくださり、皆様のご好意でお寄せいただいた物品バザー、焼きそばにおでん、炊き込みご飯、農産物等の模擬店は大盛況でこた返していただきました。また、車イス使用者の心情を少しでも理解していただくとうと設けた「車イス体験コーナー」も多くの子どもたちで賑わいました。

また、二階の喫茶コーナーにて、午後一時より始まった「将棋・オセロ」大会の方も行列ができるほど。日頃ウデ自慢を自認する利用者もこの日ばかりはタジタジ。相当の苦戦を強いられているようでした。

また、廊下では愛隣館研修



センターの様々な活動を紹介するパネルを展示。少しはこのセンターのことをお分りいただいたのではないかなと思います。

締め括りは、豪華？賞品の当たる大ビンゴ大会。参加いただいた方々に押しつぶされるのとは違うほどの大熱狂ぶり。うれしい悲鳴をあげるスタッフでした。

なお、収益の方は四四万四千六三六円計上させていたたくことができました。今回は当デイサービスセンターの利用者が使用する福祉機器の購入のために使わせていただく予定にしております。

ご献品下さったり、当日のお手伝い、その他様々な形でご協力くださった方々に十分お礼を申し上げます。改めにお礼を申し上げます。皆様どうぞお礼申し上げます。皆様どうもありがとうございます。これからも、地域の様々なニーズに出来るだけ応えていけるよう、頑張っていきたいと思えます。どうぞ、変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。

デイサービス、秋のお出かけ

初秋の枚方パーク・菊・真・っ・盛・り・！



総勢二〇名

去る十一月一日、絶好のお天気コンディションの中、愛隣デイサービスセンターの「お出かけ会」に行きました。行き先は菊真つ盛りの菊人形で全国的にも有名な『枚方パーク』。参加者は利用者二〇名（内、車イス使用者七名）。

当日朝、九時三〇分にセンターを出発。親月橋から悠然と京阪電車に乗り込みました。昨年の神戸・布引ハイブ園行ほどではなかったですが、やはり車イスが一度に七台も移動となるとエレベーターの無い駅では、少々時間がかかりました。ご多分に漏れず、乗り換え駅の「中書島」はエスカレーターのみ。初めて車イスでエスカレーターを使用する人もいましたが、駅員さんも慎重で、スタッフにも慣れた人がいたので、少々時間はかかりました。枚方方のホームへとたどりつきました。各駅にエレベーターがついていればとても便利なのですが、さて、中書島から電車に揺られること約三〇分。目的の

の「枚方パーク」へと到着いたしました。予約しておいた一流レストランにて昼食をとったあと、各自が思い思い、気に入った場所を散策したり、乗りたいものに乗ったりと、自由行動。なにはともあれ菊人形とばかりに、パビリオンへ一目散の人、コーヒーカーブやミニSLといった乗り物にまずは乗ってみよう、という人と、様々でした。中には高さ約四〇メートルの大観覧車に乗って、パノラマの大風景を満喫してきた、という人もおられました。

久しぶりに電車に乗って外出することができた人も多く、日頃、地域の中で生活しているだけでは味わえないゆつたりとした、楽しいひとときを過ごすことができました。

これからも、機会あるごとに、これらと街へ出ていき、気持ちのリフレッシュすると共に、「障害」を持って暮らしている「仲間」の存在を、積極的にアピールしていきたいと思えます。

お正月に、おいしい

おせちはいかが？...

向島地域で、お一人で暮らしていらっしゃる高齢者、「障害」をお持ちの方々に、おいしいおせちをお届けいたします。

調理して下さるのは、野の百合幼児園で長年活動しておられる「体操サークル」の方々、及び当デイサービスの調理担当スタッフ。

ご希望の方は、12月24日(土)までに当センター(☎621-3849)か、野の百合幼児園(☎622-8545)まで、お問い合わせください。

※. なお、右記チャリティーコンサートの収益の一部を、このおせちのサービスの為に使用させていただきます。

愛隣館チャリティーコンサートにご協力

くださり、どうもありがとうございました

12月4日(日)に野の百合幼児園ホールにて開催いたしましたチャリティーコンサートに、多数の子どもたちが出演してくださいまして、どうもありがとうございました。

皆様からいただきました募金は、すべて、地域にお住まいの高齢者の方々、「障害」を持つ方々のための活動に使わせていただきます。

参加者 88名

募金額 ￥77,900

94 クリスマス献金にご協力をお願いします

Merry Christmas



《クリスマス献金・要項》

※目的 愛隣館研修センター増改築にともなう借入金返済に充当するため。

※目標額 100万円

※金額、口数 特に、金額、口数の制限はありません。

※送金の方法 左記郵便振替口座の方にご入金いただくか、ご連絡くだされば、集金に伺います。

口座番号 0102015139321

口座名 社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

※当センターは、社会福祉法人の傘下施設ですので、ご寄付について、所得税の控除対象となります。免税領収証が必要な方は、どうぞ、その旨お申し付けください。

※その他、詳しいことにつきましては、お気軽に当センターの方までお問い合わせください。

日頃は、当センターの活動をご理解頂き、御支援くださいます。誠にありがとうございます。皆様のおかげをもちまして、それぞれの事業の方も順調に進んでおり、様々な方々と良き交わりの時を持たせていただいています。しかしながら、増改築にともなう借入金の返済を続けていかねばならず、苦しい運営を強いられているのが実情です。何かと物入の時期とは存じますが、当センターの活動の趣旨をご理解頂き、今年度クリスマス献金にご協力くださいますよう、改めてお願い申し上げます。

ぼくが調べた！ 向島の歴史

古代、巨椋池（おぐら池）と呼ばれる巨大な湖の一部であった向島。渡来人に始まり、豊臣秀吉らによる開発により次第にその姿を変えていきます。極付けは一九三〇年代。戦時における食糧増産のため

旧市街のメインストリート

向島の旧市街のメインストリートは、立河原町。新生商店街の古いアーケード中心に小さな商店、飲食店等が軒を並べています。私が旧市街で買物をするのも、主にこの新生商店街ですが、特にその天ぶら屋のおじいさんや、おカミさんとは顔なじみにもなり、私が店の前を通ると、おじいさんは天ぶらを揚げながら、「こんにちは」とか、「今日は暑いね」とか声をかけてくれていました。しかしこの天ぶら屋さんも、いつの頃から店じまいして、おじいさんの笑顔も、今では私の記憶に残るだけとなりました。

その北隣には、善阿弥町があり、向島では最も早くから開けた町だと言われています。この界限は、今から六〇年以上も前、昭和天皇の大札記念博覧会の関連事業として、住宅地用耕地整理が行なわれしました。町の北部には、向島小学校、南部に向島郵政住宅、その他病院やアパートが建ち並んでいます。また、向島小学校の西隣には、「親月あられ」の工場もあり、

鏡号までのあらすじ

めの農地と軍用地の確保のため、「干拓事業」がスタートし、湖は完全に消えてしまいました。そして、現在では高層住宅が立ち並ぶ住宅街へと変貌していくのでした。

香ばしい匂いが、付近を行き交う人々をお伽の国へと誘っています。しかし、この界限も、巨椋池が干拓される以前は、たびたび洪水が襲い、住民を苦しめていたと聞いています。

車イスでの散策

私が、電動車イスを駆って散歩するコースは主に、国道二四号線の東側で、ニュータウンを出発し、農道を走り、宇治川の土手下の市道を吹田河原町、東泉寺町、鷹場町、清水町等を一周してニュータウンに戻るのを常としています。それらの界限では、犬を飼っている民家もあり、私が車イスで近付くと、犬は吠えたりするのです。犬は鎖につながれているので、噛まれる心配はありませんが、中には私が遠くに離れている間は威勢よく吠えていても、側に近づいたとたん、シッポを巻いて物陰に隠れてしまう臆病な奴もいます。その犬たちは、鎖につながれたり、犬小屋に入られているためか、表情

連載 第 1 2 回

柏木 正行

が物寂しく、私は形容しがた
い感情を抱くのです。

大 還 征

そして、時には、気の向く
まま、国道の西側の旧市街を
探索したり、親月橋を渡って
伏見の大手筋界限にまで遠征
するので。

次号へつづく



◇年末大掃除◇ 十二月三十日(金)、午前十時よりきちんと片付くまで?。恒例になりました年末の大掃除。お手伝いしてくださる人、大募集です。

◇年末・年始休館日◇ 十二月二十九日(休)より、新年一月五日(休)まで。六日より、平常どおり開館いたします。

編纂後記 井

巷で横行する銃による犯罪
また、どこかの県ではいじめ
が原因で自殺する中学生も。
人と人の心が、どこかギスギ
スし、通い合わなくなっ
ていようか。このま
までは、将来日本は一体どう
なってしまうのだろうか。と考
えさせられる今日この頃です。

クリスマス・新年を控え、
慌ただしくなつてまいりまし
た。心に「ゆとり」を持って
過ごしていきたいものです。

皆様どうぞ良いお年を!